

野研びより

鳥編 7号

野外生物生態調査研究部 鳥班

2017年2月



図 1. シジュウカラ（2016年1月宮崎大学内）

シジュウカラ *Parus major*

スズメ目 シジュウカラ科

体長：15 センチメートル¹⁾

分布：日本全土

時期：留鳥または漂鳥

【特徴】

成鳥は頭と腮から喉と頬の周囲は黒く、頬は白い¹⁾ ²⁾。胸から腹にかけてネクタイのような黒く太い縦線がある。体の上面は青灰色で、後頸に白色部、上背は緑黄色部がある。雨覆と風切は灰青色。また、翼には白線が一本ある。体の下面は汚白色。

幼鳥は下面の黒い線が細く、頬や胸に黄色味がある。

【鳴き声】

「ツーツーヒー、ツーツーヒー」と透きとおった感じの澄んだ声でさえする。同じ声を2音続けて出した後に続けて別の高さの声を1音出す。これを数回繰り返すのが基調である³⁾。これ以外に「ツーヒー、ツーヒー」または「ヒーツィー、ヒーツィー」と聞こえる声でもさえする。

地鳴きは「ツッチー、ツーツーチー、チッチッチュカラ、ジュクジュク」など²⁾。

繁殖期は雄は枝先に止まり、「ツピ、ツピ、ツピ…」、「ツツピ、ツツピ、ツツピ」とさえする¹⁾。



図2. シジュウカラ（2016年1月宮崎大学内）

【習性】

全国的に留鳥である。木があれば住宅地にも普通にいる^{1) 2)}。樹上や地上で昆虫類、クモ類、草木の種子や実などを採食する。非繁殖期の群れには、他のシジュウカラ類やウグイス類、ヒタキ類、ツグミ類などの他種の鳥が混じることもある。

参考文献

- 1) 叶内拓哉 安部直哉 上田秀雄 (2014) 山溪ハンディ図鑑7 新版日本の野鳥 山と溪谷社
- 2) 高野伸二 (2008) フィールドガイド日本の野鳥 増補改訂版 日本野鳥の会
- 3) 蒲谷鶴彦 松田道生 (1996) CD Books 日本の野鳥大鑑 鳴き声333【下】小学館